

個人質問

本市議会ホームページで、過去1年間の本会議における
質疑および一般質問の映像を録画で配信しています。



新こうち未来
かわむら さだお
川村 貞夫



合併浄化槽の放流協力金

問 合併浄化槽は水環境をよくするために設置している。協力金は廃止するべきでは。

答 生活雑排水をそのまま放流することが環境に負荷を与えている。事実に基づくデータが活用できる政策立案が重要である。

「千年の森」創設

問 環境重視の市政の象徴として、市有林に「千年の森」を創設せよ。

答 地球温暖化防止への寄与をはじめ、森林の必要性、森林保全の重要性への理解をさらに訴えていく象徴とすることは意義があることだ。

タクシーチケット

問 アフターコロナではタクシー利用券を発行せよ。

答 タクシー業界からのお知恵も借りながら具体的な検討を進める。

こども庁

問 こども庁への要望は。

答 幼児教育・保育の財源確保と職員の処遇の改善である。



日本共産党
あいはた
はた 愛



オリンピック中止への姿勢問う

問 感染状況、専門家の指摘、国民世論から五輪は中止し、医療や自治体現場にこそ人も予算も集中するよう国に求めよと問う。

答 市長はアスリートの活躍に期待し開催を願うと答弁。
「性犯罪被害者支援条例」制定求める

市内で増えるDV被害者

問 NPOこうち犯罪被害者支援センターへの相談では殺人や窃盗など一般犯罪に占める性暴力の割合が、平成28年675件中29・6%から令和元年は937件中60・8%と増加。独自の支援条例を求める。

答 市長は条例の検討は考えてないと答弁。
ブラック校則見直しを求める

今年2度の国通知や市内での肌着や髪型への制限実態を紹介、理不尽な校則は見直すよう求める。

答 教育長は生徒や保護者、学校の共通理解のもと校則の見直しが進むよう、他市の取り組み事例など情報提供を行うと約束。



自由民主党
・中道の会
ふくしま あきら
福島 明



認知症対策

問 地域づくりにおいて認知症施策と一体となった取り組みを進めることが重要だと思うが、本市の認知症の現状と取り組みについて聞く。

答 国の推計では、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症または予備軍とされていて、本市の高齢者約9万7千人に置き換えると、約2万人がそのような状態にあると推測されるので、今後の効果的な認知症施策の推進が極めて重要と考える。

令和3年度に改訂した「高知市高齢者保健福祉計画」でも、認知症施策推進大綱にある「予防」と「共生」を車の両輪としたさまざまな認知症施策を位置付けており、積極的に取り組むことにしている。具体的には、本年度から新たに「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に取り組んでおり、認知症が疑われる方を把握した場合は、地域の「通いの場」を含め、必要な支援につなげることにしている。



公明党
たかぎ たえ
高木 妙



コロナ対策について

高齢者ワクチン予約の混乱の原因は、その実態にそぐわない方法であったこととウェブ予約の想定が甘さに起因すると指摘し、責任の所在を明確にしました。その上で今後の取り組みをただしました。

常設の集団接種会場開設は、

南別館を活用するなど検討し、接種を希望される皆さまが確実に年内に接種できるようワクチン接種体制を強化する。

貧困問題

「生理的貧困」について。

本市では、災害備蓄用生理用品を活用して各施設等で配布を行うことを検討している。また、

より効果的に生活相談支援窓口へつないでいくために庁内横断的に連携を取りながら取り組む。

丸池公園集会所の整備

建設後48年が経過し、老朽化が進む丸池集会所の修繕整備は、

7月末を工期として屋根の防水工事を発注しているが、それだけでは十分でないため、改修工事の実施について議論していく。



清和クラブ
うみじ こうたろう
海治 甲太郎



ワクチン接種の加速化について。

ワクチン接種の加速化に向け集団接種の体制を充実するとともにエッセンシャルワーカーに随時、接種できる仕組みを検討します。また、ワクチン接種の加速化のため県とも連携し、効率的・効果的な接種の在り方を具体的に協議します。

障害福祉サービス等事業所

への優先的ワクチン接種について。
障害のある方の日々の生活を支えている障害福祉サービス等事業所も重要な役割を担っており、居住系サービス事業所の職員に引き続き優先的に接種を行いたい。

東京五輪・パラリンピック

の開催について。
東京大会はコロナ時代の新しい大会になるよう具体的な感染防止対策を徹底し、安全・安心な大会の実現に向け取り組んで頂きたい。真摯に取り組むアスリートのためにもエールを送って頂きたい。宮本選手をはじめ本県出身選手たちの活躍を心から願います。



市民クラブ
ながお かずあき
長尾 和明



新食肉センターの運営について、「と畜事業」の安定的な継続の観点から、行政としての役割をどのように果たすのか。

同センターは、本県の畜産振興、安全・安心な食肉の供給の観点から極めて重要な役割を担う公共インフラと認識している。事業の安定的な継続については、県人口の約半分を占める高知市が消費市場としての役割を担うほか、新会社の出資者である高知県が主体的に取り組むよう要請していく。

議論が進んでいる「こども庁」について、どのような組織とすべきと考えるか。

厚労省の保育所・文科省の幼稚園・内閣府の認定こども園は、縦割り行政の典型であり、制度や手続きの複雑化を招いていることから、縦割り行政が的確に調整されることを望んでいる。

今後、子どもたちは、グローバル化により、生きる力がますます求められるため、良質な幼児教育の提供が、こども庁の重要な使命であると考える。



公明党
おおくぼ たかし
大久保 尊司



木村会館の大規模改修について

実施設計に民意はどれだけ反映されているのか、健康福祉部長に伺う。
駐車場の拡充は、児童遊園南側に新たな駐車スペースの確保を検討中である。その他、地域の市民活動団体の活動の場となる地域活動支援室や、防災倉庫の設置など精いっぱい対応をさせていただきます。

地域住民はできるだけ早期の完成を望んでいます。市長のご所見を伺う。

平成23年度に初めて旭地区社会福祉協議会からの木村会館改築の要望を受けました。関係団体の皆さんからも随時、木村会館への思いも伺っており、改築をお待たせして申し訳ない。建設工事と関連整備工事の実設計画が6月末には完了予定であり、設計が完成したら、予算査定を経た上で、9月議会に建設に係る予算をお諮りし、入札、契約の手続きを経て、施設本体等の整備を進めていく。



日本共産党
しまさき やすおみ
島崎 保臣



桂浜荘に関する市長専決処分

問 予算措置について、議会を開かず専決処分としたことは問題だと考えます。臨時議会を招集しなかったのはなぜですか。

答 本来は臨時議会を開くべきでした。指定管理者との合意形成が5月末までずれ込み、事業費を早期に確保する必要があると考え、専決処分したものです。

オーテピア西敷地利活用

問 市場調査を行った結果、マシンの必要性は低いということとで間違いありませんか。

答 住宅用途を可能とする一般定期借地権方式での事業実施の必要性は低いと考えます。

コロナ下での投票所運営

問 有権者が感染の不安なく投票所に足を運ぶため、具体的な対策を取るとともに、情報提供を強めることも必要ではないですか。

答 安全な投票環境を整え、投票所入場券に同封するチラシでそのことを示します。ホームページでも直近の選挙に関する日別、時間別の投票者数を掲載します。



自由民主党
中道の会
ひらた ふみひこ
平田 文彦



子ども会活動について、どのように考え、青少年の健全育成の取り組みの中で、どのように位置付けているのか聞く。

答 子ども会活動は、子どもたちと地域社会をつなぐ場の一つであり、地域における市民活動として、青少年の健全育成に重要な役割を果たしていると考えている。

本市の総合計画では、地域社会の中で青少年が健全な心と体を育む居場所づくりの確保を目指しており、子ども会活動はこの方向性と軌を一にするものである。

ジュニアリーダースクールの意義について聞く。

答 同スクールは、中学校1年生を対象に、次代のリーダーとして活躍してもらおう人材を育成するプログラムである。

スクール生は、異なる学校から集まって活動するため、何度も顔を合わせることで仲間になっていくといった社会教育ならではの意義を有している。また、教育委員会職員には、社会教育の実践の場として有意義な取り組みである。



公明党
いとう ひろゆき
伊藤 弘幸



南海トラフ地震と大規模災害対策について

問 南海トラフ地震における避難者予測の16万5千人に対し、避難所確保が続いている。公立学校だけでなく、私立学校や民間企業への協力を求めるべきでは。

答 今後も私立学校や民間企業等とも協議を進め、また広域避難計画に基づき、被災者の市外への避難が進むよう県や関係市町村とも協議し、避難所確保に努める。

本年5月に施行された災害対策基本法の改正内容を早急に市民に周知を図るとともに、その効果を聞く。

答 これまでの「警戒レベル3」は「高齢者等避難」と変わり、「警戒レベル4」は「避難勧告」と「避難指示」が「避難指示」に一本化されたことで、市民の方々に適切な避難行動を起こしていただける効果がある。

一般の改正内容は、ホームページやフェイスブックなどのSNSや広報紙「あかるいまち」7月号で周知をする。



日本共産党
はまぐち かずこ
浜口 佳寿子



鉱山開発より自然・環境守れ！
開発予定区域は、鏡川清流保全条例に基づく審議会で自然環境保護区域候補地の一つである。市長は開発でなく、自然を生かした政策に転換すべきではないか。

答 清流を子ども達に引き継ぐ責務はあるが、事業者に環境・住民生活の影響が最小限となるよう求め、経済活性化のため支援する。

問 コロナ禍で表面化した経済的な理由やDV・ネグレクトで生理由品が買えない「生理の貧困」は、生涯健康に生きることに関係する問題だが、対策を市長に伺う。

答 災害備蓄の生理用品を活用した各施設への配布を検討する。ヤングケアラーの把握と支援を

問 家族の介護のため、子ども達の教育等の機会が失われているヤングケアラー支援について伺う。

答 大人や社会が対応すべきケアを過重に抱えた状況を早期に把握し、必要な支援に結び付けるため、部局間の協働による支援体制構築の取り組みを鋭意進める。



山嶽会
たかはし ひろただ
高橋 裕忠



民生委員について

問 民生委員の令和4年度の改選に向けて定数割れの課題をどう克服するのか。

答 (市長) 令和元年の改選時には定数745人に対し、欠員が70人出ましたが、3年4月1日時点では欠員は54人で、16人改善しました。欠員解消に向けて民生委員協力員制度の活用による後継者の発掘と町内会等への働き掛けを行うほか、市職員の退職予定者に民生委員就任を呼び掛けております。

行政のデジタル化について

問 行政のデジタル化に当たり取り残された人々への救済策は。

答 (松島副市長) 総務省の事業として本年度は6月から携帯シヨップなどを中心に、主に高齢者のデジタル活用を支援する講習会を開始しており、市としては、こうした施策と連携して取り組みを進めます。また窓口で対応する職員体制を手厚くすることで、デジタル化に対応できない方々が取り残されないよう努めてまいります。



市民クラブ
おがさき ゆたか
岡崎 豊



障がい等のある方々への「合理的配慮」に基づいたワクチン接種の機会の提供を問う。

問 障がい等のある方々への「合理的配慮」に基づいたワクチン接種の機会の提供を問う。

答 点字や大活字による文書やメール等、事情に配慮した情報を提供。また、各種申請書類の説明手話付き動画の作成や、FAXでの予約や相談も受け付け、できる限りご要望に沿えるように接種機会の提供すると市長は答弁した。

ワクチン接種の順位を問う。

問 ワクチン接種の順位を問う。

答 7月中旬より、介護や障がい福祉サービスの従事者にワクチン接種の準備を進める。身体障害・療育手帳所持者には、優先的に接種券を送付。高齢者施設等の従事者には、7月の早い時期に接種券を郵送したいと市長は答弁した。

中小企業振興条例は、企業の実態調査を行い、実効性のある内容で策定するよう提案する。

問 中小企業振興条例は、企業の実態調査を行い、実効性のある内容で策定するよう提案する。

答 他自治体の取り組みや中小企業者向けアンケートを実施し、現状把握を行う。効果検証の仕組みとして委員会の設置を検討し、実効性のある条例制定の準備を進めると市長は答弁した。



新こうち未来
うじはら つくし
氏原 嗣志



高齢者や障害者の皆さんへのワクチン接種に向けた取組は。

問 高齢者や障害者の皆さんへのワクチン接種に向けた取組は。

答 介護事業所や障害事業所等の協力をいただき、7月中の接種完了を目指す。

知的障害者の皆さんへの接種は。

問 知的障害者の皆さんへの接種は。

答 優先的に接種券を送付し、円滑な予約と接種につなげる。

桂浜荘の運営、財政、今後の方向、1億1千万円の多額な専決額等、いずれも議会で論じる重要事案では。

問 桂浜荘の運営、財政、今後の方向、1億1千万円の多額な専決額等、いずれも議会で論じる重要事案では。

答 公社との協議、従業員の皆さまへの説明会、9月末での休館、徴収委託制への移行の合意に時間を要した。年度当初の協定書の未締結、コロナ禍で必要な収入の確保ができなかったこと等により、専決処分をした。

市長公約である市税1%の町内会への還元、公約の重みは。

問 市長公約である市税1%の町内会への還元、公約の重みは。

答 活動する団体も様々であり、考え方の違いもある。各種団体の課題等を聞く必要があり、ヒアリングの後、制度案を議論する。

◇◇ 休憩室 ◇◇

「カツオ」が安い！丸ごとさばくのは初めてなので、動画で学習して挑戦しました。出来ばえは？と聞かれたら「まだまだだなあ」と首をかしげられることでしょうか。でも、自分でさばいたカツオは、刺し身、塩たたき、カルパッチョ、フレークに変身し格別な味わいでした。「さばき」は、手順と切れ味が大切。これは何事にも通じると、料理をしながら考えたことでした。

(議会広報委員 高木妙)

会派の構成と電話・FAX番号

市民クラブ(8人)	☎823-9402	FAX 802-3055
日本共産党(7人)	☎823-9404	FAX 823-9558
自由民主党・中道の会(7人)	☎823-9401	FAX 873-0121
公明党(6人)	☎823-9403	FAX 871-2485
新こうち未来(3人)	☎823-9406	FAX 822-8119
山嶽会(1人)	☎821-9070	FAX 823-9350
清和クラブ(1人)	☎821-9020	FAX 823-9350

※山嶽会、清和クラブのFAX番号は議会事務局直通です。

人事議案

6月定例会最終日の28日に、市長から監査委員、農業委員会委員の選任議案および人権擁護委員推薦についての諮問議案が提出され、それぞれ同意または異議なき旨答申しました。

- 監査委員**
伊藤 弘幸 深瀬 裕彦
- 農業委員会委員**
植田 俊博
- 人権擁護委員**
稲垣 健吾 岡林 俊司
楠本美津子

録画DVDの貸し出し

本会議および予算決算常任委員会全体会の録画DVDの貸し出しを行っています。

貸し出し準備に時間を要するため、ご希望の方はあらかじめ、議会事務局にお申し込みください。
(☎82319400)

会議録の閲覧

6月定例会本会議の会議録は9月上旬にできる予定であり、本庁舎1階の情報公開・市民相談センター、同3階の議会図書室でご覧になれます。

また、高知市ホームページ上の

会議録検索システムで、平成6年12月定例会以降の本会議の会議録をご覧いただけます。

なお、19年4月以降の委員会の会議録もご覧いただけますが、少しでも早く閲覧できるように、ホームページ上で同システムとは別に、完成した委員会記録から順次、PDFファイル形式で公開しています。

会議録はこちら！



映像配信(インターネット)

本市議会ホームページで、本会議および予算決算常任委員会全体会の映像を生中継および録画(過去1年間)で配信しています。

映像配信はこちら！



市議会を傍聴してみませんか

本会議・委員会は原則として公開しており、どなたでも傍聴することができま

す。なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、マスク着用、手指の消毒、検温をお願いしております。また、新型コロナウイルス感染者または感染の疑いが確認された場合のご連絡先を把握するため、電話番号等の記入をお願いしております。

親子傍聴室



小さなお子さま連れの方に気兼ねなく傍聴していただけるよう、本会議場に個室の親子傍聴室を設置しています。先着順の2組程度までご利用できますので、ご希望される場合は、議会事務局までお声がけください。

本会議、委員会の日程をお知らせしています

市役所本庁舎の掲示板、高知市ホームページで本会議、委員会の開催日程をお知らせしています。

《高知市議会事務局の連絡先》

【電話】 823-9400 (直通)

【FAX】 823-9350

【メールアドレス】 kc-260100@city.kochi.lg.jp

議会に対するご意見・ご要望をお寄せください。

